

## 「船橋市都市グリーンシティ計画検討」に関する陳情

### [願意]

持続可能な都市とするため市内に樹木と菜園を大幅に増やし「船橋グリーンシティ計画」を以下のように検討することをお願いいたします。

- (1) 持続可能な生態系の確立の基礎となる多様な樹木、とくに船橋市自然植生である照葉樹の植樹と市民への啓蒙と子供たちへの教育。
- (2) 健康な食料の自給自足地産地消と生態系回復のために有機農業の振興。市民農園などの奨励と援助。その市民への啓もうと子供たちへの教育。
- (3) 車と道路から自転車と自転車道、緑地と菜園へ。

### [理由]

過剰な車社会からグリーン社会へ。これは人の健康と生命、それを支える生態系の回復と持続のための必須条件である。船橋市を歩いていて、また航空写真を見て、その緑の少なさに愕然とする。これではこの社会は持続できない。古代ギリシャ、エジプト、メソポタミアのように森を切り倒し以来数千年砂漠化した都市は数限りない。現代人は地球史の今までと比較し 100 万倍のスピードで生物絶滅を敢行している。それに伴い我々自身も絶滅へ向かってひた走っている。

緑と森の回復が生命の環境回復と持続性のために必須である。加えて自給率の極端に低い日本農業において、温暖化による世界農業の生産性の低下、輸送

費用の高騰などによる食料輸入のストップによる飢饉のリスクが近く現実となるだろう。したがって、農業の自給が急務である。健康維持と生態系保全及び二酸化炭素吸収に良い有機農業の振興応援が急務である。市民農園の拡充、家庭菜園の応援、伝統的な農家の復帰とソーラーシェアリングの援助。

また船橋を歩いて車と道路と駐車場が住宅以外の土地面積を占拠している感がある。車の代わりに自転車と公営交通、カーシェアリング、道路の半分を自転車用にする、特定の道路を車禁止にして、自転車、樹木、遊び場にするなど車から緑と人中心の街づくりをして欲しい。

照葉樹林は日本本来の自然植生であり、防風、防火、保水にも役立ち人間社会を生態的にも物理的にも肉体的にも精神的にも我々を支えてくれるだろう。照葉樹を中心に多様かつ豊富な植樹が地域の持続にとって急務である。

植樹と食料自給、車と道路の減少それぞれ5年計画、10年計画で数値目標を明確に立てて市を車とコンクリートから森と畑と自転車と再エネ産業の文化都市に変えてほしい。

また、上記すべてにおいて市民への啓蒙と次世代を担う子供たちの教育訓練が重要である。